

2018年度 JCV 支援 レポート



2018年ブータン王国視察

★ ミャンマー連邦共和国



民主化以降、保健大臣の強いリーダーシップの下、同国のワクチン接種環境は徐々に改善しています。3年前には、ワクチンは自国で賄う努力をすることでコールドチェーン機器を中心に支援して欲しいとの要請があり、今も継続しています。しかし、ワクチンが届きにくい遠隔地や国境地帯に暮らす子どもたちの接種率は十分ではなく、感染症が流行する危険性を常にはらんでいます。皆さまのご支援でワクチンを届けるための保冷庫や温度計を贈ります。

【支援内容（2019年向け）】 45,324,000 円

- コールドチェーンなど：ソーラー保冷庫 50 台、アイスライン保冷庫 75 台、温度計、定電圧装置

ラオス人民民主共和国



経済成長に加え、貧困削減や母子保健の改善などが見られるラオス。しかし、1歳児のうち、すべての推奨ワクチンを接種している子どもは全体のわずか3人に1人です。特に、道路のない遠隔地に暮らす子どもの接種率は低く、前進のスピードに停滞が見られます。政府は、ワクチン接種費用の予算を増やすなど対応していますが、まだ十分ではありません。皆さまのご支援でワクチンと接種機器を贈ります。

【支援内容（2019年向け）】 21,854,553 円

- ワクチン：BCG 650,000 人分
- コールドチェーンなど：注射器、セーフティボックス（使用済み注射器回収箱）

ブータン王国



1991年に子どもワクチン接種が確立して以来、高い接種率を保っているブータン。その成果は、いかに遠隔地に暮らす子どもや遊牧民族の子どもにワクチンを届けるか、そして標高が高い中でワクチンの適正管理温度（2℃～8℃）を保つか、という課題に懸命に取り組む看護師やワクチンを運ぶ車を運転するドライバーの努力に支えられています。皆さまのご支援でワクチンと接種機材、保冷庫を贈ります。

【支援内容（2019年向け）】 22,882,162 円

- ワクチン：経口ポリオ 100,000 人分、MMR（おたふく風邪 / はしか / 風疹）45,000 人分、BCG 80,000 人分、DPT（ジフテリア / 百日咳 / 破傷風）31,000 人、TD（破傷風 / ジフテリア）140,000 人分、B 型肝炎 27,000 人分
- コールドチェーンなど：アイスライン保冷庫 5 台、注射器

バヌアツ共和国



南太平洋に浮かぶ83の島からなるバヌアツは、現地のスタッフや看護師がボートを使って島を渡りワクチンを運んでいるため、人手と輸送コストが多く掛かっています。そのバヌアツで、ドローンを使ったワクチン運搬テストのニュースが届きました。ワクチンをドローンで運べるようになると、コストを掛けずに、必要な時にワクチンを届けられるようになります。皆さまのご支援でワクチンと接種機材、親やヘルスワーカーへの啓発活動を支援します。

【支援内容（2019年向け）】 21,010,394 円

- ワクチン：不活化ポリオ 18,200 人分、五価（ジフテリア / 百日咳 / 破傷風 / B 型肝炎 / 髄膜炎桿菌 b 型（Hib）による細菌性髄膜炎）30,000 人分
- コールドチェーンなど：注射器、セーフティボックス、保護者への啓発活動費用、ヘルスワーカー研修費用